みんなで

のりこえよう通信

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　校長室から

令和　2　年　10月　27日　　NO.21

返歌

「SDGs」。

　聞いたことありませんか。

　日本語で言うと「持続可能な開発目標」ということになります。

　2015年に国際連盟が定めた目標のことで、「貧困をなくそう」や「飢餓0に」とか「働きがいも経済成長も」など17個の目標があります。

　一度、国際連合広報センタ－のHPを見てみてください。

(<https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/>)

この17の目標の中で日本が唯一達成していると世界で認められたのが、「4:質の高い教育をみんなに」。あとの16項目はまだまだだそうです。

30年前、日本は世界の経済大国と呼ばれ、自動車やテレビ、ビデオ(最近見ないなぁ)など電化製品は、その性能を高く評価され、世界中に「made　in　Japan」があふれていました。

最近の日本の25年間を、「落日の四半世紀」と呼ぶ人がいます。

かつての経済大国の面影はなく、国内総生産でも中国に抜かれ、下降気味。スマ－トフォンには、アメリカや中国を中心とした外国の企業のアプリであふれています。そのスマホにしても、その部品のほとんどが外国製。

この25年間に他の国は、デジタルを追求し、追求できる人材を育成していたのでした。

あと、10年経つと世の中どう変わっているのか。

ドロ－ンが宅配してくれたり、自動車がまさに自動になったり、AI(人工知能)が生活のすべてを支えてくれたりしているのかも知れません。

アナログ世代の私には、全くもってわからない世界が始まろうとしています。期待するのは、生まれたときからPCやスマホに囲まれた若い世代のデジタル脳です。

　「伊勢物語」という平安時代の物語があります。

　その冒頭に男の子が歌を詠みます。当時、歌は魂と同価値で、今で言う根性入れて読むものでした。

　「筒井つの　井筒にかけし　まろがたけ　過ぎにけらしな　妹見ざるまに」。

　細かい解説は、各自で研究してください。

　簡単に言うと、この歌はラブレタ－なのです。

　もらった女性が返します。お返しの歌のことを返歌といいますが次がその返歌。

「[くらべ](http://manapedia.jp/text/4309)こし [振り分け髪](http://manapedia.jp/text/4935)も 肩[過ぎ](http://manapedia.jp/text/4337)ぬ 君ならずして たれか[あぐ](http://manapedia.jp/text/4290)べき」

　さあ、どんな返事だったか。これも各自で勉強してください。

ところで、アナログ脳を振り絞ってデジタルに接しようと努力をしています。

　某韓国ドラマの興奮冷めやらぬなか、色々関係動画を探していると、いっぱい出てきて驚きました。

　何日か某ドラマ関係ばかり見ていました。

　そして、色々動画を見ていると「別の人の彼女になったよ」という曲と出会いました。(知ってる?)

聞いて涙が止まらなくなりました。過ぎ去った昔を思い出したからでしょうか。最近の若い人の歌は素晴らしいなあ、と素直に感激しました。

ようやく某ドラマは卒業し、今度はこの歌ばかり聞いていました。

ある日見つけました。

「別の人の彼氏になったよ」という曲。

思わず「返歌か」とつぶやいてしまいました。

面白半分に聞いてみると、本歌よりも泣けてきました。しばらく放心状態でした。これは、心にこたえました。一度聞くと気持ちがふらふらになるので余り聞かないようにしています。

で、ふと思ったのでした。

デジタル時代ですがやっていることは平安時代と同じやなあと、人間の不思議を思うのです。